

2020年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
05010112

1. 計画名称

茅野市下水道中期ビジョン(下水道事業特別会計)

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	下水道普及率及び接続率については、蓼科地区の面整備や戸別訪問等により前年対比で増加した。改築更新及び地震対策延長については、管口可とう化、布設替及び管更生により順次伸ばしている。雨水対策事業は、2か年で完成するように工事を進めている。
今後の重点化施策番号	2	説明	巨大地震の発生確率が高まる中において、下水道施設の地震対策は早急に進めなければならない課題となっている。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	快適な暮らしの実現と持続	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・蓼科汚水幹線整備事業による未普及区域の整備(L=0.35km) ・管更生工事による管渠更新(L=1.03km) ・未接続家屋臨戸訪問(訪問件数97件中12件未接続解消) 	普及率、接続率に関しては目標値の大幅な増加などは見込めない。地道に個別訪問をし事業に理解をいただく必要がある。 また、幹線についてはカメラ調査が終わり管内の状況の把握は完了しているが、それ以外の管渠の状況把握が必要である。	引き続き未接続家屋については臨戸訪問を継続していく。蓼科地区については整備が終わり次第、速やかに接続していただけるよう説明会を開催し普及に努めていく。 管渠の状況を把握するためのカメラ調査を進めるため、市街地を中心に過去の維持管理状況を精査するとともに施工年度、管種等を参考に調査順序を決定していく。
2	安全で安心な暮らしの実現	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・総合地震対策事業による管口可とう化工事をN=7箇所(耐震化延長L=2.36m) ・浸水対策事業のポンプゲート整備の実施。但し、繰越事業。 ・仮設ポンプ設置工事の実施。 	部分的な耐震化を行うだけでは下水道の機能を確保することは難しい。下水道のシステムとして効果が表れるように進めていく必要がある。 浸水対策事業については、上川右岸排水区の測量データを基に、雨水整備の必要性を検討していく必要がある。	スtockマネジメント計画、総合地震対策計画を組合せ、各幹線の下流部から効率的に成果が表れるよう事業を実施する。 浸水対策は上川右岸排水区全体の地形、雨水渠等の測量データを基に現在の流量、各地区の水利用状況の把握と必要性を確認していく。
3	安定した経営の確保	おおむね順調	一般会計からの繰入金が年々減少している中で、利用料金を維持しつつ財源確保を行う中で一定の利益を得ることができている。	下水道事業における一般会計からの繰入金については、安定した経営を行うためにも、計画的、または緩やかな減額を望む。	一般会計からの繰出金は大幅な減額となっているが、安定した経営を展開している。
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」